



# すぎのこつうしん

平成29年7月 古川東町カトリック保育園

## 「ルールを守る心を育みましょう」

先月中旬に梅雨入り、台風のような雨が降った日でした。翌日からはカラリと晴れ、梅雨がウソのような天気になりました。子ども達は雨の時でも、晴れの時でも新鮮な感覚で過ごしているようです。長靴を履いて傘をさし、水たまりに入って嬉しそうにしていたかと思うと、天気の良い日は園庭で砂遊びや水遊び。生き生きと遊ぶ姿は見ていて嬉しいものです。このような遊びの中で子ども達は自分で考えて行動することを学んでいくんですね。

遊んでいる時にも、いろいろなきまり事を守っていくことで楽しく遊べることを知っていきます。友だちが使っている玩具を自分も使いたい時が「かして」と言い「いいよ」と言われたら貸してもらえ、フランクは順番に乗ること、一つしかぬいものは一緒に使うこと等、少しずつ小さい頃から身に付けていきます。きまりを守ることが当たり前にならなければなりません。このようなきまりは子どもだけで知ることは出来ないことです。私たち保育士、親が知らせなければなりません。

小さいからまだ分からないから知らせないというのでは、子どもは自分が何を考えているのかも分からず好き勝手な行動に出てしまうのではと思います。

「三つ子の魂 百まで」ということわざがあります。「幼い時の性質は老年まで変わらない」という意味です。小さい頃に私たち大人が良い手本となり、少しずつ生き生きと生きていくための基盤を作っていかなければならない責務があります。子どもは自由に伸び伸びと育てるといいますが、人として守らなければいけないことを、小さいから注意しなくてもいいんだというのは間違っているのではと思います。注意をする時「ダメ!」と頭から叱るのではなく、「こうしたらいいよ」と相手の気持ちを伝えたり、丁寧に子どもに向き合うことが大切だと思います。決まりが自然に身に付くことで、大人になってからも窮屈だと考えることなく、社会を生きていくことが出来るのではと思っています。

<園長 平野 義子>



## ☆行事予定☆

- 1~2日(土~日) お休みの保育(4、5歳児)
- 6日(木) 静修の日
- 7日(金) 七夕の集い
- 14日(金) 保育参観(2歳未満児)
- 21日(金) 誕生会

\*避難訓練

## おたんじょうびおめでとう



## ♪ 今月のうた ♪

聖歌 「神さまがわかるでしょ」

1. 美しいこの空を 愛らしいこの花を 浮かんでる白い雲 香りよき青草を  
じっと眺めるだけで ただ眺めているだけで ほら君もわかるでしょう 神さまがわかるでしょう
2. ある時は涙ぐみ いつの日か夢に見た 心には愛もなく 過ごしてる時がある  
じっと折った時も ただ折っている時も ほら君もわかるでしょう 神さまがわかるでしょう

うた 「水あそび」

みずをたくさんくんでみて みずでっぼうであそびましょう いちに さんし シュッ シュッ シュッ



## 「ルールを守る心を育みましょう」

「順番に並ぶんだよね!!」

手を洗う時、トイレに行く時、1列に並び順番を待っている子どもたち。順番を守ることみんな気持ち良く使うことができています。また、ゲームや鬼ごっこ等子どもたちの好きな遊びの中にもルールがあります。外に出れば道を歩く際の交通ルール、みんなで使う公園では公共のルール。このように生活や遊びの中にはたくさんの約束事があります。そしてその約束事を守ることによってみんなが仲良く遊び、気持ち良く過ごせるのです。時々トラブルもあります。「せんせい! ○○ちゃんが△△してるよ!!」「○○くん△△してだめだよ!」と、トラブルの中の会話を聞くと、子どもたち自身の中にしっかり約束事があるからこそこのものなのです。その約束事を知らせてあげられるというのはルールが育まれているからだと思います。大人になっても社会のルールというものがあることにあります。家庭の中でも生活する上でルールがあることを伝え、子ども時代から約束を守る大切さを知らせていけたらと思います。

<うさぎ組担任 岡崎 ひとみ>



# クラスだより



## ○ぼんび組(0歳児)

- <ねらい>
  - ・生活の中で決まりがあることを知る。
  - ・沐浴や水遊びをし、快適に過ごす。
- <家庭連携>
  - ・生活や遊びを通して、少しずつ決まりごとがあるということを知らせていきたいと思います。
  - ・暑い日には沐浴や水遊びを楽しみたいと思うので、健康状態など連絡しましょう。

## ○ひよこ組(1歳児)

- <ねらい>
  - ・生活の中でルールがあることを知る。
  - ・着脱に興味を持ち、ひとりでしようとする。
- <家庭連携>
  - ・様々な場面で予め約束を伝えることで守ろうとする気持ちを引き出していきましょう。
  - ・やろうとする意欲を大事にし、時には手伝ったりできたときには共に喜び合い、楽しい着脱の時間をつくきましょう。

## ○こどり組(2歳児)

- <ねらい>
  - ・生活や遊びの中にルールがあることを知り、守ろうとする。
  - ・夏の遊びを十分に楽しむ
- <家庭連携>
  - ・生活や遊びの中でのルールをわかりやすい言葉と動作で伝え、守れた時は十分に褒めましょう。
  - ・暑さで体力を消耗する時期なので、早寝、早起き、朝ごはんの生活リズムを整えましょう。

## ○こねこ組(3歳児)

- <ねらい>
  - ・ルールを守り、友達と気持ち良く過ごす。
  - ・水や泥に触れて遊ぶ楽しさを味わう。
- <家庭連携>
  - ・ルールを守ることで皆が気持ち良く過ごせることを知らせたり、守れている姿を大いに褒めていきましょう。
  - ・水遊びが始まりますので水着の用意をお願いします。又、体調が優れない時は登園時にお伝えください。

## ○うさぎ組(4歳児)

- <ねらい>
  - ・人との関わりの中で約束の大切さに気付き、守ろうとする。
  - ・マナーを守って食事をする。
- <家庭連携>
  - ・家庭の中でも約束事を作り、その約束を守る意味や大切さを知らせていきたいと思います。
  - ・食事の際は皿や食器を持って食べることを声掛け、習慣づけていきたいと思います。

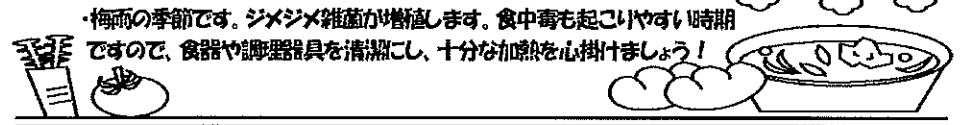


## ○ひつじ組(5歳児)

- <ねらい>
  - ・生活や遊びの中で約束を守る大切さに気付き、進んで守ろうとする。
  - ・動植物の生長や変化に気付き、興味や関心が高まる。
- <家庭連携>
  - ・約束の意味などを知らせて、守る大切さに気付けるようにしていきたいと思います。
  - ・身の回りの動植物に目を向け、子どもたちの発見や気付きに共感してあげましょう。



## 給食室



・梅雨の季節です。ジメジメ雑菌が増殖します。食中毒も起こりやすい時期ですので、食器や調理器具を清潔にし、十分な加熱を心掛けましょう！

## ◆おとうさん・おかあさんから◆

ひつじ組の〇〇〇〇(〇〇〇)の母です。早いもので来年には一年生になります。振り返れば、あっという間の保育園生活だな～と感じます。たくさんのお友達ができ、時には喧嘩をしつつも楽しい保育園生活をあけているのではないのでしょうか。〇〇〇と仲良くしてくれてありがとうございます。

先生方には親子共々、沢山のご迷惑おかけしておりますが、あたたかく見守っていただき、感謝しております。本当にカトリック保育園でよかったと感じております。〇〇〇も伸び伸び成長し、気は強いですが、優しい子に育っているようで、家では手伝いもしてくれたり、疲れた～と言えば、「肩もむ?」などと言ってくれるようになりました。先生方の教育のおかげだと感じます。あと数ヶ月よろしくお願ひします。そして、長女の時から11年間ありがとうございました。なんだから寂しくありませんが…

<〇〇〇〇〇〇ちゃんのおかあさん>

こどり組から入園して3年が経ち、早いもので最後の年のひつじ組になりました。朝の登園時には泣いてしまっていたかなかなか離れない時期がありました。今では登園するとすぐに遊び始めることがほとんどです。お友達や先生方と関わりながら、心も身体も大きく成長することができました。ありがとうございます。

まだまだ楽しい行事、楽しい毎日が待っているので、のびのびと過ごしてたくさん思い出を作ってほしいと思います。

<〇〇〇〇〇〇〇くんのおかあさん>

## おねがい

- ・日差しが強くなってきたので、忘れずに帽子を持って来て下さい。なお、帽子は通風バッグに入れてください。(子どもが取り出しやすいので)
- ・プールや水遊びが始まります。髪が長いお子さんは上の方で結び、まとめてください。また、登園時の時間の記入表の所に水遊びのチェック表を貼っておきますので毎日記入してください。(水着等の用意については後日お知らせいたします)





# あなたの一分間拝借！

終戦後72年、所謂、戦争のない平和が続きましたが、まだまだ真の平和から遠い世界情勢であちこちに、きな臭い匂いがあり、大事に至らねばと危惧する昨今です。すべて人災は人間の心奥に潜在する「目の欲、肉の欲、生活のおごり」から生ずるといわれています。小さな島に天然資源があることに気付けば、我先に「ここは昔からわが領土なり」と宣言し、国旗を立てたり、無断建築で意思表示したり、諸国の善男善女の安全保障を脅かす姿勢はいかかなのでしょうか。

平和、それは国家間だけに求められるものではありません。家族間でも職場でも教育施設でも、病院でも、福祉施設でも求められるのではないのでしょうか。

平和は「きまり」「約束事」を心を込めて守り合うところに実現されるものです。そして大事なことは、誰でも愛である神の御心に反することを「きまり」「規則」「法律」として決めることが出来ないことに心の目を向けて自重自戒しなければならぬことと思います。このことを無視した人類は戦争の餌食となり平和から遠い存在になりました。また、どんな些細な「決まり」でも神の御心に叶うことであれば、家庭の秩序を守る為に、きちんと守る人間性づくりを力尽くす7月の日々となりますように祈念いたします。親を大切にすること、これは国が決めたことでも、人が決めたことでもありません。自然には自然の法則があるように、親を大切にしたり子供を育てたりすることは、人に存在を与えた方が人の心奥に生来備えて下さった『心の法』であり、時代が変わっても場所が変わっても、義務として行わなければならないことなのです。従ってそれを放棄することは人間らしさを失った人として疑われても当然なことと思われるのではないのでしょうか。

自然環境を大切にすること、物を大切にすること、友達を大切にすること、職場を大切にすること、いと小さな人々との交わりを大切にすること等々。

私たちの社会にあるすべての法律、決まり規則、ルール・約束事等を、「良心の法則」に基づいて正しく判断しながら守り合う時、平和が訪れるのです。

『約束事』が一人歩きしないように『決まり』にいのちを与えるようにするためには、子供の心の奥に潜在している『良心』の芽をつぶさないよう共有し合うところに法の秩序が守られ、平和な社会が創造されることと信じます。

『約束事』を破ることは、嘘をつくことと同じです。すべての困り事は、嘘から始まり家庭の秩序を乱し、職場の空気が悪くなります。国家間の争いも嘘から始まり惑星の空気を破壊させます。

嘘をついてはなりません。

旧約聖書創世記モーセの十戒に「第八汝、偽証するなかれ」とあります。つまり嘘を禁じた掟(おきて)です。神に対して、人に対して嘘を言うてはならない、掟を破ることは嘘をつくことと同じであるということです。嘘は人を滅びに導く、平和の敵であると言っても過言ではありません。

新約聖書にはイエスが与えた掟が記されています。

『私はあなたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなた方がわたしの弟子であることを皆が知るようになる。』  
(ヨハネ 13の34)

『私があなた方に書いているのは新しい掟ではなく、あなた方が始めから受けていた古い掟です。この古い掟を新しい掟として書いています。  
(ヨハネの手紙1の2の7・8)



『目に見える兄弟を愛さない者は、目には見えない神を愛することが出来ません。神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。これが、神から受けた掟です。

(ヨハネの手紙1の4の20・21)

ここで言っている「愛する」とは、「人格的に大切にすること」という意味で男女関係の愛とは異なるものです。次に、この種の愛には新しさも古さも存在しない次元を超えたものであることに注目してほしい。真理、定理には、古いも新しいも存在しません。愛すること、それは掟としてイエスは人類に啓示されているので、この愛に背中を向けることは神のみ旨に反する故、自戒しなければなりません。

その意味で聖書は私たちに愛の道に反する生活を軌道修正されるよう『掟』としてメッセージされていることに心の目を向け、守るべき決まり、「神との約束事」としてしっかりと受け止め、7月の心の教育目標に挑戦して頂きたいと思います。

慈しみと愛のあるところに神はまします！

すべての人は、この愛に招かれているのです！

7月のテーマ：「きまり」、「約束事」を心を込めて守りましょう！

カトリック教会 司祭  
川井 啓

